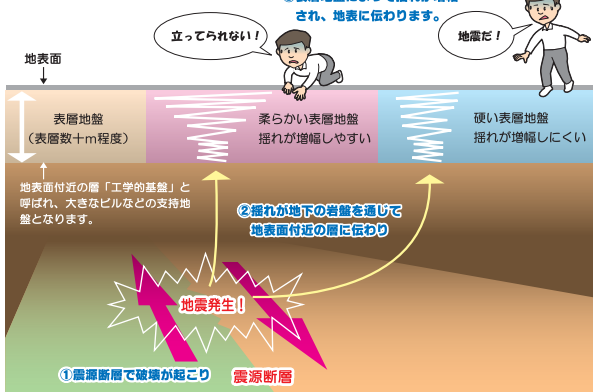


揺れやすさマップ

「揺れやすさマップ」とは、地盤の状況とそこで起こりうる地震の両面から、地域の揺れやすさを震度として表したものです。地震による揺れの大きさは、その土地の表層地盤の性状と、震源断層規模と距離によって大きく変化します。そのため、表層地盤の揺れやすさを評価する際に、地盤を知ることはとても重要となります。

今回、国東市では揺れやすさマップを作成するにあたり、市内全域を最小約50m四方の格子状に分割して地形（山地、台地、谷、埋立地など）の判定を行い、市内周辺も含めて約100本のボーリング調査資料を収集して地盤の揺れやすさを評価しました。

■地震の揺れの伝わり方



■直下型地震 (マグニチュード 6.9)

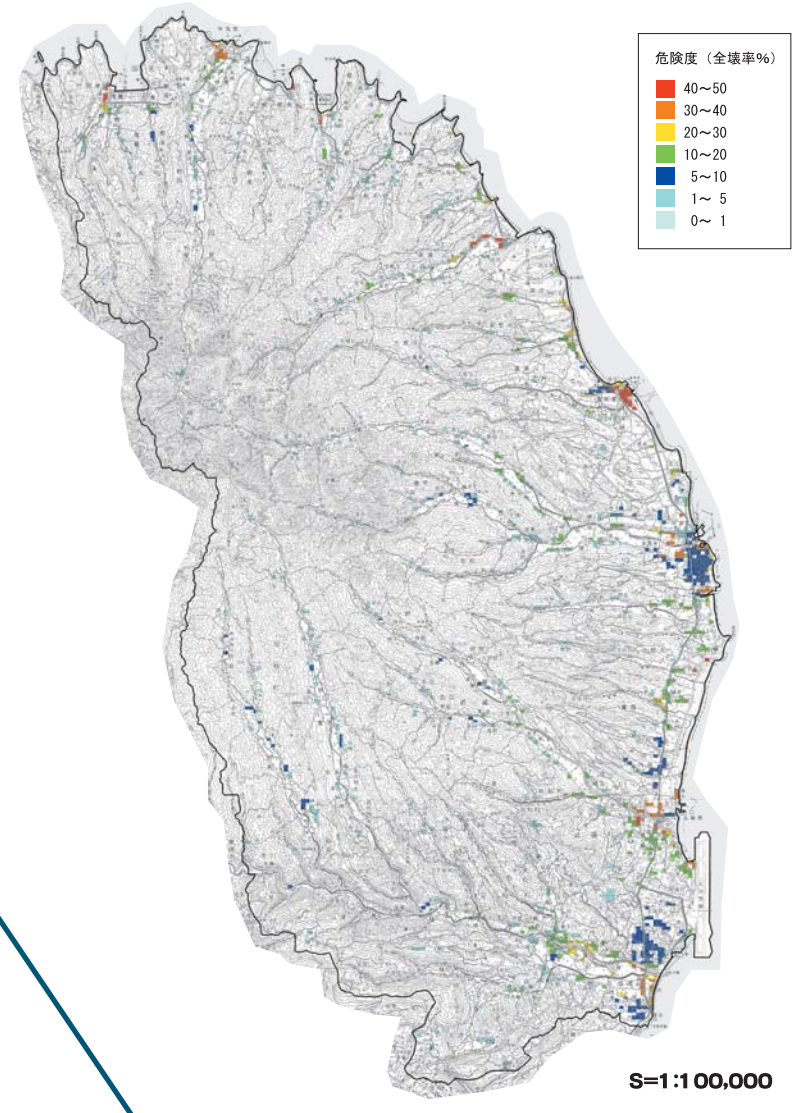
近年、日本では活断層が確認されていないところで地震が発生しており、「いつ」「どこで」地震が発生してもおかしくない状況であるとの認識が広がっています。

今回、作成した揺れやすさマップは、「全国どこでも起こりうる可能性があると言われている直下型地震 (マグニチュード 6.9)」が発生した場合に、それぞれの場所ですくらくらく揺れるのかを強さ別に色分けをしてわかりやすくした地図です。

このような地震が一度に起こるわけではありませんが、それぞれの地点で将来的に経験する可能性のある地震を想定し、防災対策の参考となるよう震度の予測結果を表したものです。

地域の危険度マップ

地域の危険度マップは、地震による揺れによって発生する建物被害の分布を、相対的に表したものです。具体的には、「揺れやすさマップ」で示した強さの揺れとなった場合に、建物に被害が生じる程度を「危険度」として表しています。この「危険度」は、約50m四方で分割した地域に建っている建物の中で、全壊する建物の割合により設定しています。危険度の数値が大きくなるほど地域の建物を受ける被害が大きくなります。



■避難所一覧

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 竹田津改善センター | 23 糸原第1公民館 |
| 2 湯の里 温泉 | 24 糸原第2公民館 |
| 3 伊美小学校体育館 | 25 保健福祉センター |
| 4 国見福祉センター | 26 小城公民館 |
| 5 B&G海洋センター | 27 武蔵中学校 |
| 6 老人ホーム くこみ苑 | 28 武蔵西小学校 |
| 7 熊毛改善センター | 29 丸小野下公民館 |
| 8 旧来清中学校 | 30 丸小野上公民館 |
| 9 来清活性化センター | 31 梅園の里コミュニティセンター |
| 10 富来小学校 | 32 旧西武蔵小学校 |
| (※津波の場合のみ深江区は深江公民館) | |
| 11 国東体育館 | 33 旧朝来小学校 |
| 12 大恩小学校 | 34 あさぎりの郷 |
| 13 旧上国崎小学校 | 35 安岐中央公民館 (旧安岐高校) |
| 14 豊崎小学校 | 36 市役所安岐総合支所 |
| 15 国東中学校 | 37 安岐中学校 |
| 16 国東小学校 | 38 安岐中央小学校 |
| 17 アストくにさき | 39 国東市営安岐体育館 |
| 18 小原小学校 | 40 安岐小学校 |
| 19 旭日小学校 | 41 南安岐地区公民館 |
| 20 B&G海洋センター | 42 老人憩いの家 |
| 21 美郷 | 43 安岐児童館 |

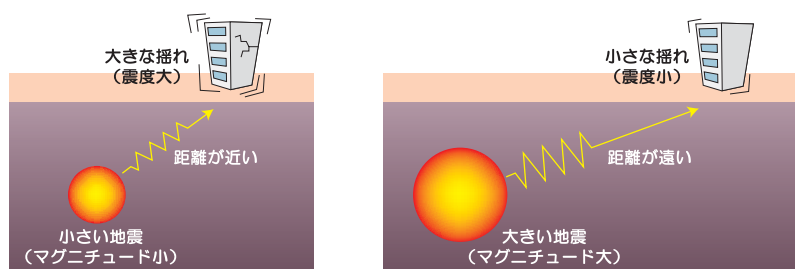
■震度の説明

震度	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
状況	大半の人が、物につかまらないうるまじく歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。まれに傾くことがある。
木造住宅	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。	壁などに大きなひび割れ・亀裂が多くなる。傾くものや倒れるものが増える。	傾くものや倒れるものがさらに多くなる。
RC造	壁、梁、柱などの部材にひび割れ・亀裂が入ることがある。	壁、梁、柱などの部材にひび割れ・亀裂が多くなる。	壁、梁、柱などの部材にひび割れ・亀裂が多くなる。	壁、梁、柱などの部材にひび割れ・亀裂が多くなる。1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものが増える。
RC造	壁、梁、柱などの部材にひび割れ・亀裂が入ることがある。	壁、梁、柱などの部材にひび割れ・亀裂が多くなる。	壁、梁、柱などの部材にひび割れ・亀裂が多くなる。	壁、梁、柱などの部材にひび割れ・亀裂が多くなる。1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものが増える。

■「マグニチュードと震度の違いは？」

「マグニチュード」は、地震そのものの大きさ（規模）を表すものさしです。一方「震度」は、ある大きさの地震が起きた時のわたしたちが生活している場所での揺れの強さを表します。

マグニチュードと震度の関係は、例えば、マグニチュードの小さい地震でも震源からの距離が近いと地面は大きく揺れ、「震度」は大きくなります。また、マグニチュードの大きい地震でも震源からの距離が遠いと地面はあまり揺れなく、「震度」は小さくなります。



■各地の地震被害



揺れやすさマップの凡例

- 避難所
- 緊急輸送道路
- その他の主要道路

震度に関する色分けの見方

